

## 前回(平成 30 年度業務)評価への対応について

### 1 前回評価の結果について

平成 30 年度の指定管理運営業務については、県が求める水準や事業計画に沿って実行されており、全体的に「概ね計画どおりの管理運営がなされている」という評価であった。

評価項目	評価結果		
	平成 28 年度業務	平成 29 年度業務	平成 30 年度業務
① 快適な利用環境の創出	4	4	4
② 利用者の声の反映／県民参加型の施設運営	4	4	4
③ 入居施設間の有機的な連携	4	4	4
④ 県民への情報提供（県内全域へのサービス提供）	4	4	4
⑤ 適切な施設運営	4	4	4

※ 詳細については、参考資料 1 「いわて県民情報交流センター（アイーナ）の指定管理業務に関する評価結果報告書（平成 30 年度業務）」を参照願います。

## 2 評価への対応について

評価結果を県及び指定管理者において真摯に受け止め、業務の改善に向けて取組んでおり、主な取組内容について以下のとおり報告する。

評価項目	更に優れた管理運営に向けた助言等	対応（取組）状況
① 快適な利用環境の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 周辺施設や地域町内会等との良好な関係の継続に努められたい。</li> <li>○ 職員の業務負担に留意しながら、職員の意見を取り入れる取組等によって、引き続きサービス向上や人材育成に努められたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 催事や美化活動、祭事への協賛、東西盛岡駅前周辺地域連携イベントへの積極的な参加、盛岡駅前商店街との連携等を行い良好な関係の継続に努めている。</li> <li>○ 勤務シフトパターンの見直しを行い、効率よく仕事を行える運用を行っている。また個人の目標等の設定を行いその達成のための人材育成も試行している。</li> </ul>
② 利用者の声の反映／県民参加型の施設運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自ら声を上げない利用者のニーズ把握についても工夫するなど、更なる利便性の向上に努められたい。</li> <li>○ 館内全体の賑わいにつながる4階フロアの利用促進に努められたい。</li> <li>○ イベントの開催にあたり、今後も、あらゆる年代に分かりやすい県民目線の身近なテーマ設定に努められたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 無作為のネットリサーチの活用や利用者・来館者との日常の触れ合いの中から得られる意見やニーズの把握等を大切にする運用を心がけている。</li> <li>○ いわてヒューマンギャラリーでの展示と連携した催事を実施。（いわてふるさとフェア）今後も同様な催事を検討していきたい。</li> <li>○ 岩手のふるさと情報というあらゆる年代に分かりやすい催事「いわてふるさとフェア」（前述）を開催。</li> </ul>
③ 入居施設間の有機的な連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運営協議会等で入居団体とも管理運営の方向性を共有し、利用者からの目線を意識した施設の一体的な管理運営に努められたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 複数の入居団体が有機的に関わる催事は継続して開催している。今後も各入居団体との連携を密にし、それぞれの団体が持っているミッションを互いに達成できるような取り組みを行っていく。</li> <li>○ 館内連携の一環として、アイーナで働くスタッフがよりフレンドリーな関係となり、お互いの理解をさらに深めるための館内報「あ・いいな vol.1」を企画・制作・発行し全入居施設に配布した。</li> </ul>

評価項目	更に優れた管理運営に向けた助言等	対応（取組）状況
④ 県民への情報提供 (県内全域へのサービス提供)	<p>○ ラグビーワールドカップカウントダウンボードの設置及び反応について分析し、今後のカウントダウンボードの利用につながる検証を行っていただきたい。</p> <p>○ 地域人材の育成に寄与すると思われる「いわてヒューマンギャラリー」の企画はぜひ継続し、一層のPRに努められたい。</p>	<p>○ラグビーワールドカップカウントダウンボードの意匠変更を行い、岩手県の重要施策や取り組みを掲示する「いわて未来ボード」を制作、設置した。「いわて未来ボード」は、裏面に「わんこきょうだい」のイラストを載せ子どもが備え付けの椅子に座ると「わんこきょうだい」といっしょに写真撮影ができるフォトスポットにしている。映えるスポットを通してアイーナや岩手への親近感を醸成する場として活用していきたい。</p> <p>○令和元年度は従来多かった「ものづくり」系の方々に加え、「岩手の若者の就職サポート」に取り組んでいるキャリアカウンセラーも取り上げ展示を行った。今後も様々な角度から「岩手の幸福な未来をつくる」人材、団体にスポットをあてていきたい。またホームページに過去の展示をアーカイブできる専用ページを開設し一層のPRを行っている。</p>
⑤ 適切な施設運営	<p>○ 危機管理対応については、関係機関と連携し、あらゆる事態を想定した管理体制の構築に努められたい。</p> <p>○ 経年劣化への対応に当たっては、修繕工事の立会等について県と指定管理者において対応策を検討されたい。</p> <p>○ エネルギー使用量に関しては、設備更新等の機会を活用して省エネに配慮し、利用者等に不便を強いることのないように快適な施設運営に努められたい。</p>	<p>○アイーナ緊急連絡系統図及び業務部門別責任者連絡先を定期的に更新し常に連携を取れるように努めている。また、各入居施設等へ避難経路把握指導や災害対応(水害)の研修を行い、防災意識を高めた。</p> <p>○工事立会については、発注時期打合せ・調整を実施し、施工立会が増加しないように行った。</p> <p>○修繕計画(設備更新)において、省エネ(高効率製品)を提案しております。</p>